



校長室から

正しく恐れる

校長 郷野 俊介

4月16日に発令された全国への緊急事態宣言が5月14日に39県で解除されました。長崎県も解除された1県であり、本校も5月11日から2週間、1・2年生と3年生に分けて「分散登校」を実施し、25日からの「通常登校」に備えています。14日は毎年行われる本県の「高総体」が正式に中止と決まった日でもありました。運動部活動を続けてきた3年生の心情を察すると、「高総体」は高校最後の晴れ舞台であり、勝っても負けても高校生活の一つの大きな節目だったので「中止」は聞くに忍びない連絡だったと思います。ただただ、感染拡大防止の措置であることを理解して欲しいと思います。

■「コ+ロ+ナ=君」未来への希望を歌に

4月から5月にかけての新聞記事は「コロナ」一色で、その中でも前向きな記事を見つけると何かホッとしています。標題はタナカサダユキさんが投稿した「しばらくは 離れて暮らすコとロとナ つぎ逢う時は君という字に」という短歌を紹介する新聞記事の見出しです。コとロとナを分けることによりソーシャルディスタンス（社会的距離をとる行動）も表現されているそうです。

■朝日新聞「天声人語」から

広島県のお寺のご住職の日課は、標語を練り、毛筆を走らせ、門前に掲げることです。コロナ禍でとがった空気を和らげたいと1日1枚に改めたそうです。「子ども怒鳴るな来た道じゃ お年寄りいたわれ来る道じゃ 感染者責めるな同じ道じゃ」感染者を犯罪者のごとく責める風潮に不安を覚え、前半は永六輔さんの本で学んだ人生訓に手を加え、後半は自ら韻を踏んだとありました。＜当たり前だったことが有難いことだったと気づかされる＞。子どもたちが教室で学ぶこと。大人たちが職場で働けること。失って初めて知る日常の輝きを言葉につむいでいるそうです。学校や商店が再開した地域もありますが、なお警戒を解けぬ方も多いでしょう。＜したいことはあきらめずに。すべきことはあせらずに。できることはくらずに＞。状況が好転せずに塞ぎ込む日には、こんな一言を声に出して読んでみては、ともありました。そして、こんな言葉も、＜感謝の日差しで花が咲く。不満の嵐で花が散る＞。そういえば、通勤で聞くFM長崎でも「コロナを感染させず、笑顔を感染させよう」この言葉を最近毎朝聞いています。皆さん、（コロナは）正しく恐れ、（気持ちは）前向きに頑張りましょう。

分散登校

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、5月11日から分散登校が始まりました。各授業においても、密にならないように使用教室を変更したり、使用機器をこまめに消毒したりするなどの対策をとっています。

5月25日からは通常登校を再開する予定ですが、感染拡大防止に向け、万全の対策を講じていきたいと思っております。

一日も早く、通常の生活が戻りますように・・・。



6月の主な行事予定

6月

- 8日(月) 放課後補習開始(3年)
- 15日(月) 拓こうチャレンジ週間(～6/19)
- 16日(火) 授業研究会(地歴公民科)
- 18日(水) 歯科検診(1、2年)、生徒総会
- 19日(金) 歯科検診(3年)
- 20日(土) 各種模擬試験(3年)、公務員模試(3年)
- 21日(日) 全商珠算・電卓実務検定
- 25日(木) 考查時間割発表
放課後一斉自学(～7/1)
- 26日(金) 家庭科検定(2・3級、筆記)
- 28日(日) 全商簿記実務検定

